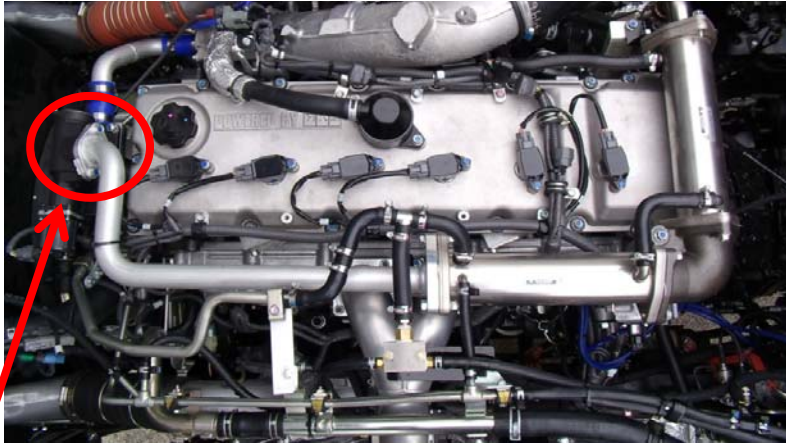


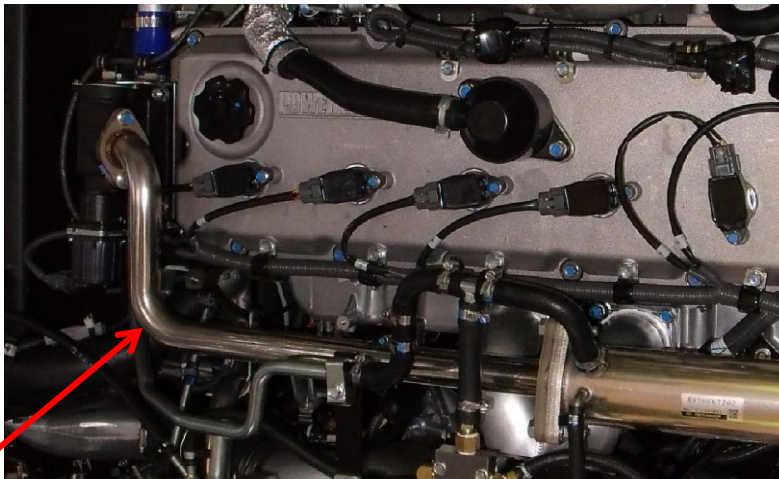
改善箇所説明図



改善前(アルミ材)

基準不適合発生箇所

燃料装置を軽油からCNGに変更した大型トラックにおいて、EGRパイプの材質及び溶接方法が不適切なため、車体振動によりEGRパイプフランジ部に亀裂が生じる事がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、EGRパイプフランジ部の亀裂が進行して、排気漏れが発生するおそれがある。



改善後(ステンレス材)

EGRパイプ

改善措置の内容

全車両、EGRパイプを対策品に交換する。

は、交換部品を示す

注：交換後の識別は、EGR側取り付けボルト2本に白色のペイントを塗る